



## IRC 2021 レース主催者のためのガイド



2020/12/13

### (抜粋版)

#### 1 前文

最も基本的なレベルでは、レース委員会がそのレース公示で示す必要のあるのは「IRC規則2021、パートA、BおよびC(あるいはD)が適用される。」が全てです。

#### 2 レース公示

IRC規則の様々な事項を検証し、またそれらをレースの公示に組み入れることも必要になります。IRC規則11の“クラス規則の変更”は、こうした事項の多くに対するものです。

**IRC規則の変更は、帆走指示書ではなく、レース公示で示さなければなりません。**

#### 2.1 証書の有効性-“証書年度”(Certificate Year)

日本国内での証書の有効期限は12月31日までです。JSAF年度と異なりますのでご注意ください。1月実施レースにおける前年の証書の使用に関しては許可されています。

#### 2.2 広告

パートCは広告を許可するIRCです。パートDは広告を許可しないIRCです。どちらを適用するのが“レースの公示”の中で指定するのはレース主催者に任されています。どちらも明示的に指定されない場合は、パートCが適用されます。つまり、デフォルトは広告を許可することになります。

#### 2.3 レーティングの変更

参加艇が、レガッタやシリーズ戦の直前もしくは開催中にレーティングを変更する事は望ましくありません。これを許すと、例えば予期される天候に際し搭載セールの追加や抹消を利用してレーティング値を有利に調整することが参加者にとって可能になります。さらに、管理運営上の視点から見てレーティングはイベントの開始前に提出されることが望ましいのです。適当な記述例として

##### レースの公示:

“参加艇は○月○日までに、IRC証書のコピーを提出すること。この日付以後のTCCの変更は、レーティングプロテスト、あるいはレーティングオフィスのエラー訂正以外は許可されない。”

#### 2.4 RRS 52 人力

IRC規則15.1により、RRS 52、人力、は削除されています。従って全ての艇は、セールおよびムーバブルアペンデージの調節や操作のために蓄積した動力(stored power)の使用が、そのように証書が発行されている限り、許されます。

RRS 52の削除はまた、ショートハンドレースの着実な増加傾向を踏まえて、オートパイロットの使用を許す意味もあります。

しかし、IRC規則15.1はレース公示による修正が可能です。レース主催者は、レースの形態に従ってRRS52の全体をあるいは部分的に適用することができます。

## 2.5 クルー制限(クルーリミット)

### 2.5.1 クルー人数/重量

レース公示で変更されない限り、クルー重量制限がデフォルトとして適応されます。

**22.4.2** 証書に記載されたクルー人数 × 85kg のクルー重量を超えてはならない  
ワンデザイン・クラスとしての証書を持つ艇は、クルーナンバー/重量に関しては、  
当該ワンデザイン・クラス規則に従わなければならない。

レース主催者がこの制限をはずしたい場合は、つまりクルーリミット制限を設けないようにするには、  
レース公示で“IRC ルール 22.4.2 は適用されない。

クルーナンバーもしくはクルー重量の制限は適用されない。”と明記する必要があります。

レース主催者が、ユースや女性クルーの参加を強く奨励したいのであれば、以下のような文言を使い  
イベントへの参加を促す方法があります。

レース公示: IRC規則22.4.2は、“レース中乗艇できる乗員の最大数は、証書に記載されている乗員数  
とし、例外として、少なくとも2名の女性、もしくは、少なくとも2名の25歳以下( 月 日時点で)  
もしくは、少なくとも1名の女性と1名の25歳以下( 月 日時点で)のクルーが乗船する場合は  
乗員の制限は、証書に記載されている乗員数プラス1名とする。乗員重量の制限はない。”

### 2.5.2 クルー減数

コロナウイルスパンデミックは、クルー人数に対しての制限を徹底させることになりましたが、  
多くの場合、特にクラブレーサーの間でこれは、好意的に受け取られることとなっています。

## 6 複合スコア(抜粋)

ヨットクラブ(レース主催者)は パーソナルパフォーマンスハンディキャップと IRC の両方の証書を  
有している艇について、可能であれば必ず複合スコアリングを採用も考えてみて下さい。

このポリシーの基本的考えは、パーソナルパフォーマンスハンディキャップがレース経験の浅いセーラーに  
レースに気軽に参加してもらい、より経験のあるセーラーと同じレースでその実力を比べる機会を得てもらおうと  
同時に、経験あるセーラーが離れていかないように、平行して IRC のレース結果を提供するというものです。

フリートを IRC とパーソナルパフォーマンスハンディキャップのクラブレースに別けるのではなく、クラブは  
全てのポートを一緒にレースさせ、必要ならクラス分けを行ない、IRC とパフォーマンスハンディキャップの  
2つのレーティングによる成績を発表することが推奨されます。

## 以下 レース公示で 変更できる 規則一覧

- 8.6** スピネーカー(規則 21.6 参照)を持つ艇の IRC 証書には、2 つ目のノンスピネーカーTCC が記載される。  
ノンスピネーカーTCC は、レース公示においてノンスピネーカーの部門またはそのクラスがあると記載  
されているレースにのみ有効である。ノンスピネーカーによる TCC を使うクラスに出場しようとする艇は、  
少なくともそのレースの 7 日前までに、シリーズレースの場合は第 1 レースの 7 日前までに、その旨を  
申告しなければならず、また申告後には、そのレースもしくはそのシリーズでスピネーカーを使用することは  
できない。この規則は、レース公示で変更することができる。
- 9.6** TCC が見直され、以前より 0.005 を超えない範囲で大きくなった場合、レーティングオーソリティーに  
見直し要求の申し立てを行った日付まで、もしくは、抗議の場合、その抗議がレース委員会に提出された  
時まで、そのレーティング証書は有効とするが、もし規則 8.9 が適用される場合は、変更が行なわれた  
日付までとする。この規則は、0.005 の制限を減らす方向でのみ、レース公示で変更してもよい。
- 11.2** ルールオーソリティーは、自ら管轄するレースで、ISAF スペシャルレギュレーションカテゴリー3もしくは  
それ以上の適用を要求する場合、規則 21.6.1 を、艇が証書にあるスピネーカーの数よりも、レーティング  
11.2 を増やすことなく、レーティング SPA の面積を超えないスピネーカーを一つ余分に搭載できるように  
変更する規程を設けることができる。

- 11.3** ルールオーソリティーが規則に規程を設けた場合、レース公示はその規則もしくは規程の内容を、ルールオーソリティーの承認なしに変更することはできない。ルールオーソリティーの規程は、11.2 レース公示に記載されなければならない。

**上記 11.2 および11.3を有効とする為には レース公示に於いて『日本セーリング連盟 IRC 規定が適用される。』を記載する必要があります。**

『日本セーリング連盟 IRC 規定』は IRC 規則 2021の最終ページに記載されています。

- 14.1** 全ての艇は、ナショナル・オーソリティ(NA)によって定められたセイルナンバーを保有しなければならない。セイルナンバーは RRS77「セイル上の識別」に従って表示されなければならない。この規則はレース公示によって修正する事が出来る。
- 15.1** RRS 52「人力」は適用されない。この規則はレース公示によって変更することが出来る。
- 21.1.5(d)** レイデイを含み連続して開催されるレガッタの期間中、搭載するセイルは同一のものでなければならず、全てのレースで搭載していなければならない。この規則は、レース公示で変更できる。
- 21.1.5(e)** スペアのメインセイルは搭載してもよいが、レース中およびレイデイを含み連続して開催されるレガッタ期間中、レース用の代替えとして使用してはならない。この規則は レース公示で変更できる。
- 21.1.5(f)** 例外的に、セイルが重大な損傷を受けたり、損失した場合、そのセイルは同様のセイルと交換することができる。レース公示により、セイルの交換の許可を事前にレース委員会から得ることを要求することができる。この規則はレース公示で変更できる。
- 21.8.4** 他のどのようなヘッドセイルを搭載してもよい。この規則はレース公示で変更できる。  
(21.8 ファーリングヘッドセイルの項目)
- 22.4** クルーナンバー／重量 (Crew Number/Weight)
- 22.4.1** 証書に記載されたとおり、ワンデザイン・クラスとしての証書を持つ艇は、クルーナンバー／重量に関して、当該ワンデザイン・クラス規則に従わなければならない。ただし、レース公示によってこの要求が解除された場合は、その限りでない。規則13.7も参照。
- 22.4.2** クルー重量は、証書に記載されたクルーナンバーに85kgを掛けた数字を超えてはならない。
- 22.4.3** 規則 22.4はレース公示で変更出来る。